

2. 参加資格：

全国各大学理工学系の学生（高専・短大・学士・修士・博士課程の学生）。

3. 募集人員：延べ 1065 名（会場・コース別定員があります）**4. 見学会のコース：**（次の 4 コースからご希望のコースが選べます）

A コース エレクトロニクスと鉄鋼業（主に電気、計装、システム、物理、機械系学生を対象）

B コース プロセス・メタラジーとプロセス・エンジニアリング（主に機械、金属、建築、土木系学生を対象）

C コース 基礎科学による材料解析技術（主に化学、物理、金属系学生を対象）

D コース マテリアル・サイエンスと新機能マテリアル開発（主に物理、金属系学生を対象）

5. 費用：

参加費 無料

交通費 大学所在地の最寄り駅から、見学会場までの交通費を一定の基準にしたがい支給します。

宿泊 ご要望により宿泊所を斡旋します。

6. 申込方法：

平成 4 年 1 月 31 日（金）〔当日消印有効〕までに、個人単位で、日本鉄鋼協会へ所定用紙にて申し込んでいただきます。また、会場・コース別定員になり次第締切ります。

なお、詳細募集要綱および申込用紙は、学科主任教授宛および、電話またはハガキにてご要求いただいた個人宛に送付します。

7. 問合せ先：

日本鉄鋼協会 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

TEL 03-3279-6021, FAX 03-3245-1355 担当：技術室 多田、佐藤

ISO 幹事国活動**1. 国際規格発行に関する進捗状況**

(1) ISO 規格が発行されたもの：3 件

ISO 6934-1 (SC 16) : PC 用鋼—般要求 (07-01)

ISO 6934-2 (SC 16) : PC 用鋼—冷間引抜鋼線 (07-01)

ISO 9364 (SC 12) : 溶融 Al/Zn めっき鋼板 (07-15)

(2) DIS が登録されたもの：2 件

DIS 4992 (SC 11) : 鋳鋼—超音波試験 (07-30)

DIS 8458-3 (WG 20) : ばね用オイルテンパー線 (08-02)

(3) 新作業項目が登録されたもの：4 件

project 439 (SC 1) : Si-重量法 (08-23)

project 11652 (SC 1) : Co-原子吸光法 (08-23)

project 11653 (SC 1) : Co-電位差滴定法 (08-23)

project 4941 (SC 1) : Mo-吸光光度法 (08-23)

2. ISO 中央事務局関係

前月号に紹介した Agreement on technical cooperation between ISO and CEN (通称 Vienna Agreement) が 6 月 27 日に開催された CEN Administrative Board で承認された。ISO Executive Board の承認は既に得られているので実施に入ることになるが、そのガイダンスが中央事務局より送付されてきた (08-08)。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) TC 17 総会準備

1) 第 3 回組織委員会開催

8 月 9 日に開催し、次項を決定した。

a) 歓迎行事の主催、内容、出席者、挨拶者

b) 工場見学は行わずに観光を半日行う。

c) 記念品は各社の例も参考にして事務局で考える。

d) SC 12, SC 20, TC 17 会議を通じた事務局の人員配置

e) 今後の実施事項

2) 第 25 回 TC 17 諮問部会

8 月 27 日に開催し、審議対象議題の資料内容につき検討した。

3) 検討資料のメンバーへの配布

現在発行を予定している総会用全 34 文書のうち 13 文書を作成、配布を行った。

(2) SC 2

ISO 4948-2 : 1981 の定期見直し

投票結果は、確認 8, 改訂 1, 廃止 1, であったので確認と決定、ただし引用されている規格の中に既に廃止されているものがいくつかあるので、これの修正は近く実施する。以上の内容を中央事務局及び SC 2 の P-メンバー、O-メンバーに通知した。(幹事国不在のため TC 17 事務局が代行)

(3) SC 8

ISO 657-13 : 1981 の定期見直し

投票結果は、確認 9, 改訂 1, であったので確認と決定、その旨中央事務局及び SC 8 の P-メンバー、O-メンバーに通知した。(幹事国不在のため TC 17 事務局が代行)

(4) SC 11

先に SC 19 の会議にて「遠心鋳造管をとりあげたい」という意向が示された旨を SC 11 幹事へ連絡していたが、このほど「SC 11 も規格作成に参画したい」との要望が寄せられた。正式には 10 月の SC 11 会議で検討されるが、この旨を SC 19 幹事へ連絡し、新項目の投票は結論が出るまで待つよう要請した。

(3) SC 16

下記 2 件の DIS の投票結果が中央事務局より送付されてきた。

DIS 10287 (SC 16): 鉄筋用鋼-金網溶接継手部の強度の決定法

DIS 10544 (SC 16): 鉄筋及び溶接金網用の冷間引抜線

投票結果はおのこの

P-メンバー投票 15 対 0, 13 対 2

全メンバーボディ投票 20 対 0, 18 対 2

の多数で“承認”である。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) Publication stage (Stage 5): 新規格の発行はなかったが、次の進展があった。

1) TR 9769 (鉄鋼分析方法の概要) (3rd edition); proof 返送……08-12.

(2) Approval stage (Stage 4): 現況は次のとおり。

1) DIS 10697-1 (sol Ca-原子吸光法); 投票結果に対するコメント処理, テキスト修正・浄書中, SC 1 議長と協議済, 9 月上旬に中央事務局へ発送予定。

2) DIS 10714 (P-吸光光度法); 6 か月投票中(締切: 09-23)。

(3) Committee stage (Stage 3): 現況は次のとおり。

1) CD 10698 (Sb-無炎原子吸光法); 最終 CD 案及び無炎原子吸光法通則内容検討, 修正案作成。コンビーナに返送……07-31, コンビーナの承認を得たのち SC 1 内確認投票に入る予定。08-31 現在コンビーナから返答なし。

2) CD 10702 (N-蒸留滴定法); 最終 CD (案) 及び確認事項検討報告書の SC 1 内確認投票中(締切: 08-31), 主要国からの回答受領……全部賛成。

3) CD 4830-4 (C-燃焼電量法); 1992 年のロンドン会議まで取扱い保留。

(4) Preparatory stage (Stage 2): 現況は次のとおり。

1) WG 12 (Mn-プラズマ) (CD 10278); ICP ガイドライン案を盛り込んだ CD 案到着, 直ちに日本コメント 2 件をコンビーナに連絡……07-31。08-30 現在コンビーナから返答なし。

2) WG 17 (Ca-原子吸光法) (CD 10697-2); 共同実験中。

3) WG 20 (GC-燃焼赤外線吸収法) (CD 10719); 共同実験結果の統計解析終了(ただし UK を除く), その結果をコンビーナに送付済……08-23。

4) WG 21 (Al-原子吸光法) (CD 10699); 共同実験中, 日本の分析結果報告済。

5) WG 22 (Mn-原子吸光法) (CD 10700); 共同実験結果の統計解析結果をコンビーナに送付済……07-31。

6) WG 25 (S-吸光光度法) (CD 10701); 共同実験データ収集中。フランスからデータ遅延 15 日間の通知受, フランスへデータ催促中……08-30 現在結果未受領。

7) WG 27 (N-融解熱伝導率法) (CD 10720); 共同実験要領及び試料受領……08-22, 共同実験開始(報告期限: 10-31)。

8) WG 28 (Si-重量法); 共同実験結果の統計解析結果をコンビーナに送付済……08-23。

9) WG 29 (Co-原子吸光法); 共同実験データ収集中。大半回収済。

10) WG 30 (Co-電位差滴定法); 共同実験中, 日本の実験結果報告済。

11) WG 31 (Mo-吸光光度法); 共同実験中, 日本の実験結果報告済。

12) Ad hoc group (Low C); 予備共同実験中。

(5) Proposal stage (Stage 1): 登録手続き中の NWI について中央事務局から次のような登録済の通知を受領した……08-26。

1) Project 439 (Si-重量法): WG 28

2) Project 11652 (Co-原子吸光法): WG 29

3) Project 11653 (Co-電位差滴定法): WG 30

4) Project 4941 (Mo-吸光光度法): WG 31

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

(1) 次回 TC 67/SC 5 国際会議日程

TC 67 総会及び TC 67/SC 6 (石油, 天然ガス処理設備及びシステム) の次回日程を考慮し, 1992 年 9 月 9~11 日, 日本開催を予定し, 鉄鋼 ISO 運営委員会, 理事会の承認を求める。

(2) TC 67/SC 5/WG 1 (ケーシング, チュービング, ドリルパイプ)

AFNOR の要請により, TC 67/SC 5 Secretariat より WG 1 参加の P-メンバー各国に Expert の指名を要請した。

6. 国内会議

第 3 回 TC 17 総会組織委員会: 8 月 9 日, 江本委員長以下 10 名

第 25 回 TC 17 諮問部会: 8 月 27 日, 青木部会長以下 16 名

7. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

(1) SC 12 11 月 12~15 日, 京都

(2) SC 20 11 月 15~16 日, 京都

(3) TC 17 11 月 19~22 日, 京都

